

石阪市政と対決 公約・願いの実現へ質問

3月10日から28日まで2014年町田市議会第1回定例会が開催。日本共産党市議団の一般質問の要旨を紹介します。

細野りゅう子市議
は、金森地域で廃止されたコミュニティバス金森ルートに代わる公共交通について質問しました。



町田市が提案したデマンド型や乗り合いタクシーが、どんなものかわかるように住民に説明すること、また選択肢を住民の要望に応じて広げること、シルバーパスを利用なども検討するよう求めました。

また、住民要望の強いバス停の屋根掛けも、市から提案してもっと増設を進めるよう求めました。

また、住民要望の強いバス停の屋根掛けも、市から提案してもっと増設を進めるよう求めました。

廃止された金森の公共交通の復活を

とのむら健二市議
は、市長の政治姿勢をただしました。



公共料金値上げや有料化など市民負担増計画は止めるべきとの質問に、担当部長は、公平性の確保をたしました。

市民の暮らし、福祉第二に、「4つのゼロ」4つの引き下げ」の実現を求めました。

大雪対策体制強化を
大雪対策についての質問では、電話の受け入れ体制、除雪のための職員、民間業者の支援体制強化を求めた質問に、検討するとの答弁がありました。



ハコモノ建設より暮らし・福祉一番に

中学校でも給食の実現を

学校給食の二環としてすべての中学生に学校給食を自校直営で行うよう求めました。中学校給食を頼んでいる子どもたちの昼食の実態を調査するよう提案、校長会に相談しとりくむと教育部長が答えました。

50年前の米軍機ジェット機墜落事故を風化させないよう民間のものも記録の収集を求めた質問には「収集・保存する」と答弁。米軍ジェット機騒音やヘリの不時着、落下物事件は厚木や横田の米軍基地が元凶であり、基地撤去を求めるよう要望しました。

論戦ではっきり

国際会議場

コンベンションホール
自公民そろって推進
——市長「収支は赤字に」

石阪市長は、「当面の施政方針」でコンベンションホールについて「新たな賑わいを創出する中心的な存在」と位置づけました。さらに、民主党市議の質問に「市民が使うというよりも経済波及効果」「当然、収支は赤字になる」と答弁しています。自民党は、これまで同様に推進の質問を展開。民主党も、「大切に計画を育ててほしい」と質問をおこないました。公明党は、市議選の公報で「コンベンションホールを新たに建設します!」と推進の立場です。